



# 古賀市記者懇談会（6月）

平成30年6月28日(木)16時～

古賀市役所A応接室

朝日新聞社、共同通信社、時事通信社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社(50音順)

## ① 古賀東小学校「子供の読書活動優秀実践校」で文部科学大臣表彰！【P1-2】

【古賀東小学校】（問い合わせは古賀東小学校教頭 藤井＝092－942－3935）

平成30年度子供の読書活動優秀実践校として、古賀東小学校が文部科学大臣表彰を受けました。古賀東小学校は、年間読書冊数目標をひとり100冊として、貯読通帳や読書感想文集の作成などさまざまな活動を行っています。

## ② 古賀西小学校「砂の芸術大会」を開催します！【P3】

【古賀西小学校】（問い合わせは古賀西小学校教頭 江口＝092－942－4381）

古賀西小学校では毎年、古賀海岸の砂浜において「砂の芸術大会」を開催しています。本校の年間行事の中でも特色ある大きな行事の一つで、子どもたちが砂で思いのこもった、テーマに応じた“もの”をそれぞれの力を合わせて制作します。

## ③ 小学生の夏休み議場見学会を開催します！【P4】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは青少年育成課 馬場＝092－942－1172）

子どもたちが日頃なかなか見ることのできない議場を見学することで古賀市の議会を身近に感じてもらい小学生の選挙への関心をひくことを目的として開催します。また、異なった意見を調整し、答えを導き出す場を知ってもらう“学び”を提供します。

## ④ 市キャラバン・メイト連絡会「橙」

「日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞」の実践ケア賞を受賞！【P5-8】

【古賀市役所】（問い合わせは介護支援課 吉武＝092－942－1156）

認知症施策の一環である「認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」の講師として活躍いただいている古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙」の取組が、認知症の介護や医療に功績のあった人や団体に贈られる「認知症ケア学会・読売認知症ケア賞」の「実践ケア賞」を受賞しました。

## ⑤ 古賀市同和問題を考える市民のつどい 有馬理恵さん講演会【P9】

【古賀市役所】（問い合わせは人権センター 大谷＝092－942－1128）

7月は同和問題啓発強調月間です。今年で38回目の「古賀市同和問題を考える市民のつどい」では、劇団俳優座所属の有馬理恵さんによる「釈迦内枢唄（しゃかないひつぎうた）」（水上勉原作）ダイジェストバージョン（20分）を含む講演会を開催します。

## ◎ 《お知らせ》

### ① 古賀を歩こう～歩いてん道ウォーク in ハマボウまつり～【P10】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは生涯学習推進課 荒川＝092－942－1347）

日時：7月14日（土）8時～（受付7時45分） 場所：古賀西小学校グラウンド

### ② 親子で楽しむ第4回「夏休みinわくわくサロン」を開催します！【P11】

【古賀すたいる】（問い合わせは古賀すたいる 大神＝090－5476－0646）

日時：7月21日（土）15時～20時 場所：わくわくサロン

## ■ 問い合わせ先

古賀市役所経営企画課 波多江、吉田＝092-942-1346 ☎pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

## 古賀東小学校「子供の読書活動優秀実践校」で文部科学大臣表彰

平成30年度子供の読書活動優秀実践校として、古賀東小学校が文部科学大臣表彰を受けました。古賀東小学校は、年間読書冊数目標をひとり100冊として、貯読通帳や読書感想文集の作成などさまざまな活動を行っています。また、読書ボランティアや保護者との連携により、計画的にお話会や親子読書会を開催しています。今後も、読書を通して、ますます子どもが心豊かに成長していくことを願っています。

### ●平成30年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰

#### <図書館教育の目標>

- ・読書を通して心豊かな子どもの育成を行う
- ・主体的な学習を効果的に進めるため、学習・情報センターとしての充実を図る

#### <定期的に行なわれている取組の概要>

##### (1)外部ボランティア、読み聞かせアシスタントによる読み聞かせ活動

- ・読書ボランティア（ぐりとぐらの会）による読み聞かせを毎週火・水曜日の朝の活動（8時30分～8時40分）で、全学年に実施している。
- ・読み聞かせアシスタント（昔っこさん）による前期お話会（6月初旬）と後期お話会（9月～10月）を実施し、ストーリーテリングやわらべ歌、読み聞かせ、ブックトークに取り組んでいる。

##### (2)1年間を見通した校内読書活動の推進

- ・たんぽぽ週間「こども読書の日」（4月）を設定し、「図書館サロン（全校放送）」で、こども読書の日について全校児童に周知している。また、図書委員会による昼休みの読み聞かせ活動を行っている。
- ・あじさい週間「読書週間」（6月）を設定し、朝の集中タイムでの朝読書と読書ボランティア（ぐりとぐらの会）による読み聞かせ活動を実施している。
- ・どんぐり週間「秋の読書週間」（10月）を設定し、図書委員会によるおすすめの本リストの作成、掲示と一言読書感想「この本読んだよ」の記入に取り組んでいる。
- ・ゆきだるま月間「読書月間」（2月）を設定し、貸出冊数を3冊から4冊に増やすとともに、図書委員会による「おすすめの本」新聞の作成と掲示を行っている。

##### (3)市民への図書館開放

- ・校区内外の方々へ平日9時30分～16時に学校図書館を開放し、読書活動を推進するとともに児童とのふれあいの場を提供している。就学前の子どもを連れた方や高齢者の方等が気軽に立ち寄っている。

<イベント的に行なわれている取組の内容>

(1)読書集会（9月）

- ・日ごろお世話になっている読書ボランティアの方々へ在校生より感謝の気持ちを伝える集会。多く本を読んだ児童の紹介や6年生による「読み聞かせ」、図書委員会による「ビブリオバトル」などを通して、読書の輪を広げ、図書館の活発な利用の促進につながっている。

(2)読書感想文集「あおまつ」の作成と配付

- ・昭和31年に第1号を発行以来、平成29年度57号発行の歴史を持つ、古賀東小学校独自の読書感想文集。平成24年度からは、全児童の感想文を掲載し、作成・配付している。現在は、教職員の「大好きな1冊」というページも掲載するなど、学校全体で取組を進めている。

**【問い合わせ先】**

古賀東小学校 担当：教頭 藤井・学校司書 田野中

電話：092-942-3935

古賀市教育委員会 学校教育課 指導係 担当：庄村

電話：092-942-1348

## 古賀西小学校「砂の芸術大会」を開催します！

古賀西小学校では、6月30日（土）に毎年恒例の「砂の芸術大会」を行います。場所は、学校の西側にある、松林を抜けた古賀海岸の砂浜において行われます。この砂の芸術大会は、本校の年間行事の中でも、9月の「浜の運動会」とともに、特色ある大きな行事の一つです。

また、古賀西小学校は昔から「白砂青松」の学校と言われており、まさにそのイメージにふさわしい活動の一つとなっています。長い歴史を誇り、近年では、平成18年より全校での行事として再開し、今年で13回目の開催となります。各学年・学級の子どもたちは、この日に向けて、話し合っ、思いのこもった、テーマに応じた“もの”をそれぞれの力を合わせて制作します。

### ■日時

6月30日（土）	8時35分	開会式（放送にて全校放送で）
	9時	浜に移動後、作品制作開始
	11時	作品鑑賞・記念写真撮影
	12時	閉会式（弁当時間）

\*悪天候の場合は7月5日（木）に変更の可能性があります。取材時には確認をお願いします。

### ■3つのねらい

この大会を通して子どもたちへのねらいは、3つあります。

- ①ふるさとである古賀の浜に親しみをもち、自然を守り育てていこうとする態度を育てます。
- ②学級で協力して作品を創ることを通して、協力の大切さを学びます。
- ③砂像制作を通して、問題解決力、創造力を育てます。

今年度6年生は「古賀西小独自の特色ある行事、砂の芸術大会を盛り上げよう・成功させよう」と、総合的な学習の時間の一環として主体的に取り組んでいます。事前準備から、これまでの経験を生かして、企画・運営を子どもたち自身で行うことにより課題解決能力が育まれます。さらに主体的・協働的に取り組むことにより、互いのよさを生かしながら積極的に参画しようとする態度が養われます。子どもたちの課題の解決を通して、思考力・判断力・表現力を深めるばかりでなく、自己理解・他者理解・社会参画力を高める姿、また海に恵まれた古賀西小学校校区の地域の特性を最大限に感じ愛着を深める姿を、この大会を通してご覧いただければと思います。

< 昨年の活動の様子 >



### 【問い合わせ先】

古賀西小学校 担当：教頭 江口  
電話：092-942-4381

## 小学生の夏休み議場見学会を開催します！

日頃なかなか見ることのできない議場を見学することで、古賀市の議会を身近に感じてもらい、小学生の選挙への関心をひくことを目的として開催します。また、異なった意見を調整し、答えを導き出す場を知ってもらう“学び”を提供します。

### ■日時など

日時：7月25日（水）・8月2日（木）14時～15時30分

場所：市役所4階 議場・議員控室

対象：古賀市内に在住または通学する小学生 各18人

### ■目的・アピールポイント

目的

- ・選挙年齢の引き下げを受け、選挙への関心を持ってもらう。
- ・議場見学や模擬議員体験、採決システムの操作などをおして議会に興味関心を持ってもらう。
- ・異なった意見を調整して答えを導き出す場を知ってもらう。

アピールポイント

- ・学校の授業で学ぶ先の学習として、実際に体感できます。（議員さんと直接話せて、「議員の仕事」について学べるなど）
- ・驚く顔や真剣な顔、緊張する顔、笑顔、子どもたちのいろんな表情が見られます。

### ■実施内容

議員控室にて「議会の仕事（役割）」を講話

議場内見学 1人ずつ議員席に座って「議員」を体験

#### 【問い合わせ先】

古賀市教育委員会 青少年育成課

担当：馬場

電話：092-942-1172

## 古賀市キャラバン・メイト連絡会「<sup>だいたい</sup>橙」が平成 30 年度 「日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞」の実践ケア賞を受賞！

本市の認知症施策の一環である「認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」の講師として活躍いただいている古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙」の取組を、認知症の介護や医療に功績のあった人や団体に贈られる「認知症ケア学会・読売認知症ケア賞」に応募したところ、「実践ケア賞」を受賞しました。

### ■古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙」とは

平成 21 年、古賀市内のキャラバン・メイト養成研修修了者の有志によって立ち上げられた団体で認知症サポーター養成講座を中心に積極的な活動を継続している。

構成メンバー：2018 年 3 月時点 登録者数 100 名 うち活動者数 75 名

主な職種：看護師、理学療法士、作業療法士、ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士行政職員、民生委員、福祉員、ボランティアなど

### \*キャラバン・メイトとは

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める人

### ■実施内容

#### 〈平成 29 年度 認知症サポーター養成事業実績〉

講座名	受講者数（児童数）	メイト活動者数
認知症ジュニアサポーター養成講座 「オレンジ教室」	554 人	54 人
中学生向け認知症サポーター養成講座	341 人	20 人
認知症サポーター養成講座（出前講座等）	153 人	23 人
受講者合計者数（平成 29 年度）	1,048 人	
キャラバン・メイト連絡会 活動人数		97 人

累計受講者数（平成 21 年度～） 7,045 人

うちジュニアサポーター数 2,707 人

### ■古賀市認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」とは

別紙のとおり

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 介護支援課 包括支援センター係

担当：吉武、松島

電話：092-942-1156

## 古賀市認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」

古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙」が中心となり、大人向けに認知症サポーター養成講座を実施していく中で、認知症になっても安心して暮らせるまちになるために、子ども達にもサポーターの一員になってもらえたら・・・と考えるようになりました。

そこで、1年間の準備（学校関係者への説明や教材づくり等）を経て、市内小学校の人権教育副読本「いのちのノート」のカリキュラムに取り入れてもらい、平成24年度から市内全小学校で、認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」を実施しています。

### 1. 対象児童

古賀市内全8小学校で実施。7校は5年生、小野小学校のみ6年生。  
（毎年約500名の児童が受講）

### 2. 開催の目的（子ども達に伝えたい4つのこと）

- ① 生き方の先輩である高齢者を敬う気持ちを育てる
- ② 認知症の人への支援のあり方を通して、困った人がいたら気にかけて支援できる思いやりの心を育てる
- ③ 「認知症」という「病気」や「認知症」になった「人」のことを正しく理解する
- ④ 子どもたちも「ともに助け合い、支えあう地域の一員」であることを学ぶ

### 3. 開催日時

日程：9月～10月頃

時間：授業の2コマ（約90分、10：50～12：25の学校が多い）

※ 事前に各学校教員を対象に認知症サポーター養成講座を実施。

※ 「オレンジ教室」開催までの流れは、別紙参照。

### 4. スタッフ

講師：古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙」

事務局：古賀市介護支援課包括支援センター係

（古賀市地域包括支援センター「寄って館」）

※ 1回の講座でキャラバン・メイト6～9人体制

### 5. 教材

- ・人権教育副読本「いのちのノート」
- ・模造紙、ペン（グループワーク用）
- ・認知症の人の脳の状況を説明するための、ペレットを使った実験装置（ペットボトル）

## 6. 教室の流れ

### (1)年を取ることのイメージづくり

【人権教育副読本「いのちのノート」  
を使って、事前学習の確認を行う】



### (2)元気な人と認知症の人の記憶の違い、認知症とはどういうものかの学習



【ペレットの実験装置を使って、認知症の人と  
元気な人の脳の記憶の違いを説明】

### (3)認知症の人がいる家族の一場面の寸劇

【ご飯を食べてない編の  
悪い例の寸劇】



### (4)寸劇を見て、認知症の人の気持ちやその対応についてグループワークと発表



【3つのテーマについて考えます】

- ①認知症になった人はどんな気持ち？
- ②自分になったらどういう気持ち？
- ③みんなの大切な人が認知症になったら、  
わたしたちは何ができるでしょう。

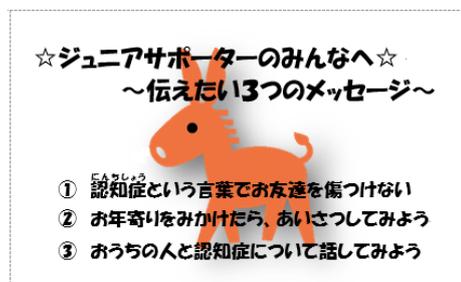
### (5)子ども達の発表を聞き、良い例の寸劇

(6)認知症ジュニアサポーターとは、まとめ

(7)受講者へ認定証及びオレンジリング、学校にステッカー配布



【子ども達に配布する認定証：表裏】



【学校に配布するステッカー】

※教室当日までに学校で事前学習を実施。また、事前事後のアンケートを実施

## 古賀市同和問題を考える市民のつどい 有馬理恵さん講演会

今回で 38 回目を迎える古賀市同和問題を考える市民のつどいは講師に劇団俳優座所属の有馬理恵さんをお招きして東日本大震災の写真や、ミュージカルの一人語りも交えてご自身の体験を中心にお話しいただきます。

また、有馬さん自身が芝居の道へ進むきっかけとなった「しゃかないひつぎうた釈迦内 枢 唄」(水上勉原作)のダイジェストバージョン(20分)も上演します。涙あり、笑いあり、心に残る講演会です。

### ■日時など

日時：7月7日(土) 10時開演(受付9時30分)

場所：リーパスプラザこが中央公民館大ホール

### ■実施内容

「7月は同和問題啓発強調月間です」

- ・福岡県では7月を同和問題啓発強調月間と位置付けており、本市においてもさまざまな取組を行っているところです。その一環として「同和問題を考える市民のつどい」を開催し人権講演会やパネル展を実施しています。

#### 【講演会】

講師：有馬理恵さん(劇団俳優座所属)

演題：「差別と戦争をなくすために」

～ ふるえるような怒りの奥底にすぎるような生命の願いがあった ～

- ・講演会当日は、さをり織のコースターを来場者にプレゼントします。
- ・街頭啓発：7月4日～6日、三日間、市内3駅や商業施設など9カ所。
- ・パネル展：期間：7月1日～7月31日

内容：「絵本から学ぶ同和問題」

場所：リーパスプラザこが中央公民館ギャラリー

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 人権センター

人権教育・啓発係

担当：大谷 電話：092-942-1128

## 古賀を歩こう～歩いてん道ウォーク in ハマボウまつり～

四季折々の自然を楽しみながら「健康づくり」「仲間づくり」のウォーキングコースとして「歩いてん道」を9コース設置しています。

今回は、潮風に吹かれ波の音を聞きながら青い海原が広がる「歩いてん道・浜辺コース」を歩きます。

ゴール会場の「花鶴が浜公園」は、夏の訪れを告げる黄色の可憐な花「ハマボウ」が公園の花鶴川沿いに咲いています。花の黄色、葉っぱの緑色、空の青色、このコントラストがとても美しく夏の訪れを強く感じることができます。

「花鶴が浜公園」では「第10回ハマボウまつり」が開催されます。

また、「古賀すたいる」主催のフォトレッスン事業と連携し、市内外へ古賀市の魅力をアピールします。

### ■実施日時及び場所

日時：7月14日（土） ＊雨天順延：7月15日（日）

時間：8時～（受付：7時45分）

受付・スタート会場：古賀市立古賀西小学校 グラウンド

ゴール会場：花鶴が浜公園

### ■アピールポイント

- ①海岸の景観
- ②可憐な花「ハマボウ」
- ③「ハマボウまつり」

### ■内容

古賀西小学校をスタートし「歩いてん道・浜辺コース」と「ハマボウ」が咲き誇る花鶴川河口の道を歩きます。

- ・白砂青松の美しい景観と潮風を楽しむウォークです。
- ・「ハマボウ」の自然木の発見場所で「ハマボウ」ガイドを行います。
- ・「フォトレッスン・ウォーキング」（古賀すたいる主催／有料500円）

■参加申込 当日受付会場で行います

■参加費 無料

### 【問い合わせ先】

古賀市教育委員会 生涯学習推進課  
スポーツ振興係 担当：荒川、小西  
電話：092-942-1347

## 古賀駅前の商店街の空き店舗を舞台に 親子で楽しむ第4回「夏祭り in わくわくサロン」を開催します！

古賀駅前の商店街の空き店舗を舞台に、子育て中のママが中心となって、一夜限りの商店街がうまれます。子育て中のママに楽しんでもらえるようなお店がたくさん。なにより、出店するお店や、運営スタッフにも子育て中のママが多くを占めて、ママと子どもたちのために企画をしています。

学校の夏休みに子連れでも楽しめるように、子ども向けワークショップもあります。

小中学生の夏休みの始まりの日に、ゆっくり子連れで過ごし、親子で楽しめるイベントは  
いかが？

### ■事業の概要

名称：夏祭り in わくわくサロン

日時：7月21日（土） 15時～20時 ※雨天決行 ※入場無料

場所：わくわくサロン（旧・結城呉服店（古賀市天神 1-3-12））

主催：古賀すたいる（代表：戸田祐子）

会場は、かつて呉服店として活躍し古賀の市民にもなじみのあった場所。

昼のあるスペースを活かして、この空き店舗にママを癒すための「美容・占い・リラクゼーション」をテーマにしたブース（10店舗予定）を中心に、子ども向けワークショップや、可愛い雑貨のお店を集めて1日限りの「小さな商店街」わくわくサロンを開店します。

「古賀すたいる」では、取材先・読者との交流会として、これまで年間に3回ほどの子育て世代向け（その中でも特にママと子ども）を対象とした、子育て世代ならではの居場所づくりのイベントを開催しております。2015年7月以来、通算で10回目となり、「夏祭り」としては4回目となります。

来場者・出展者・運営者とも子育て世代が中心となっており、子育て中の手作り作品のクリエイターさんの作品を見て楽しんだり、子育て中の方が企画するワークショップに参加したりしながら、楽しく過ごしています。

当団体は Web による情報発信からスタートしました。その情報サイトの取材先のお店や読者の方々との交流の場作りを定期的に「わくわくサロン」でイベントを通じて行っております。当日は古賀の夏の大きなおまつり「土曜夜市」も開催されます。休憩スペースとしても活用していただけたらと思っています。（おむつ替えとか）

\*報道機関の皆様も、空き店舗から始まる古賀市における地域活性化のご支援と、古賀界隈における子育て中の親世代やその子どもたちにこの空間を楽しんでいただけるよう、事前の告知や当日のご取材などご協力いただけましたら幸いです。

【問い合わせ先】古賀すたいる

<http://www.koga-style.com/> kogastyle26@gmail.com

電話：090-6663-0836（戸田）、090-5476-0646（大神）

